

第32回新潟県高等学校総合文化祭・放送部門

兼 第31回新潟県高等学校放送コンクール

兼 第38回QK杯校内放送コンクール

兼 第15回北信越高等学校選抜放送大会・福井大会 新潟県代表選考会

兼 第43回全国高等学校総合文化祭・佐賀大会放送部門 新潟県代表選考会

実施要項

<< 顧問会議後確定版 >>

主催 新潟県高等学校文化連盟 NHK新潟放送局（JOQK）

共催 新潟県高等学校教育研究会視聴覚部会

主管 新潟県高等学校文化連盟放送専門部

1 日時 平成30年11月11日（日） 9:00 ~ 17:00

2 会場 新潟明訓高等学校 音楽ホールほか

〒950-0116 新潟市江南区北山1037番地 TEL.025-257-2131

3 日程 （予定…エントリー数により変更することがあります。）

9:00~9:30 10:00 10:30 11:00 12:00 13:00 14:30 15:20 16:00 16:50退校

受付		開 会 式	テレビ 番組部門	アナウンス 部門	昼 休 み	朗 読 部 門	ラジ オ 部 門	交 流 会	講 評 ・ 表 彰 閉 会 式
----	--	-------------	-------------	-------------	-------------	------------------	-------------------	-------------	--------------------------------------

→9:30~審査員打合せ 9:40~顧問打合せ

→受付時にアナウンス&朗読の課題配布

4 実施部門および参加資格

(1) アナウンス・朗読部門

アナウンスは郷土の話題を高校生に伝える内容の校内放送の原稿を作成し、発表する。

朗読は、指定された作品を選び、発表する。

1,2年生で、各部門とも人数制限は設けません。

なお本選に先立ち、録音媒体提出による予選を実施します。

(2) ラジオ番組・テレビ番組部門

ラジオ番組・テレビ番組は、郷土の話題を高校生に伝える内容の校内放送用作品にする。

1,2年生が制作する作品で、各部門とも1校2作品までとします。

5 参加申込方法

(1) 参加申込書を県高文連HPの放送専門部リンク <http://www.kobunren.jp/housou/> からダウンロードし、必要事項を入力の上Eメールにファイル添付して送信してください。

(2) 更にファイルを印刷し学校長印を押印した参加申込書を、大会当日迄に提出してください。

※送信先・問合せ先（大会主管担当）

a-umeda@niigata-meikun.ed.jp

（新潟明訓高等学校 梅田 愛子 宛）

送信締め切り日 平成30年10月29日（月）必着

6 提出するもの

(1) アナウンス・朗読部門

①原稿台本（1人につき7部）

1人につき、規定のA4袋とし（仕上がりA5製本）で作成のこと。（コピーで増刷可）

②予選審査用の音声CD-R

部門ごとに1枚を使用してください。

③予選結果・講評の返送用封筒〔返信先記載・切手貼付済のもの〕

返送する講評用紙の量も多いので「レターパック」をお勧めします。（「レターパックライト」可）

※アナウンス部門で静止画映像を用いる場合は、さらに以下も必要です。

④静止画データのCD-R（画像使用希望者のみ）

5画像以内とします。詳しくは「別紙制作規定」を参照のこと。

⑤静止画を映す箇所を記載した指示書1枚（画像使用希望者のみ）

学校名、氏名を記載した「A4を縦にした、横書き原稿」

※提出先・問合せ先（大会主管担当）

〒950-0116 新潟市江南区北山1037番地

新潟明訓高等学校 梅田 愛子 宛

TEL. 025-257-2131 / FAX. 025-257-2077

提出締め切り日 平成30年10月31日（水）消印有効・または直接持参可

(2) ラジオ番組・テレビ番組

①番組作品メディア…（DVD-RまたはBD-R）

②番組進行表・CUEシート等（1作品につき2部）

規定のA4プリントで、折らずに左上綴じにします。

番組における著作権処理は、制作校の責任において処理してください。

●楽曲著作権は「JASRAC等の手続書」

●写真、資料等の著作隣接権は「関係各所の許諾書」

をそれぞれとってコピーを最後に綴じ込んでください。

原稿様式は「NHK杯全国高校放送コンテスト」に準じてください。

③両部門とも、作品規定を参照のこと。

※提出先・問合せ先（大会主管担当）

〒950-0116 新潟市江南区北山1037番地

新潟明訓高等学校 梅田 愛子 宛

TEL. 025-257-2131 / FAX. 025-257-2077

提出締め切り日 大会当日持参可(11月11日・9:30迄に受付提出)

あるいは、平成30年10月31日（水）消印有効・または直接持参可

※なお、番組部門の提出物は、大会当日の受付時でも提出が可能ですが、

当日提出の締め切りは9:30です。提出に間に合わない、再生不能となったりした場合は失格です。

※番組部門の大会申込後のタイトル変更は認めません。申込と大会当日のタイトルに差異があった場合は、失格もしくは減点の対象となります。

※別紙「映像データ入力時の補足」を参照してください。

7 アナウンス・朗読部門の予選審査

- ①本選前に、予選審査を11月3日（土）に非公開で実施いたします。
- ②予選通過者が本選の出場資格者となります。なお、審査結果と講評用紙を郵送返却します。
- ③予選通過者は、両部門ともそれぞれ40名程度の見込みです。
- ④11月8日（木）までに結果が届かない場合は、担当の新潟明訓の・梅田にご連絡ください。

8 参加料

(1) 以下の参加料を、下記の口座に11月1日(木)までに振り込んでください

(振込手数料は各校負担)

参加料

- | | | |
|--------------|--------|--------|
| ①アナウンス・朗読部門 | 1名につき | 1,000円 |
| ②ラジオ・テレビ番組部門 | 1作品につき | 2,000円 |

参加料送金先

【銀行名】 ゆうちょ銀行 【店名】 一ニ八（イチニハチ） 【店番】 128
【預金種目】 普通預金 【口座番号】 2923593
(郵便振替の場合 記号：11220 番号：29235931)
【口座名義】 高文連放送専門部（コウブンレンハウソウセンモンブ）

(2) 参加費は、10月29日の期日までに申し込みをされた人数・作品数で徴収します。
出場辞退及び予選不通過の場合でも納入していただきますことをご了承ください。

9 朗読部門指定作品

- ① 斎藤 惇夫 著 「冒険者たち」～ガンバと15ひきの仲間～（岩波少年文庫）
- ② 野中 柊 著 「小春日和」（集英社文庫）
- ③ 新潟県にかかわりのある作家・作品から選んだもの（出版社は問わない）
③の場合、昨年の指定作品及び、出場者が以前に参加した大会で扱った作品は除外すること。
新潟県との関わりの説明を、簡単に提出原稿表紙の指定欄に記入すること。

[参考：昨年度の指定作品]

- (1) 坂口安吾 著「桜の森の満開の下・白痴」（岩波文庫）
- (2) 松岡 譲 著「漱石の印税帖」（文春文庫）

10 表彰

各部門とも、

NHK新潟放送局から、1位～3位まで、

新潟県高等学校文化連盟から、1位～3位までと奨励賞（3名）を表彰します。

11 選考による上位大会推薦枠

1. 第43回（平成31年度）全国高等学校総合文化祭・佐賀大会の放送部門「新潟県代表」に、入賞者、入賞作品の中から下記の通り推薦する。

（平成31年7月31日（水）～8月1日（木）実施）

全	アナウンス部門……………3名
国	朗 読 部 門……………3名
総	オーディオピクチャー部門……………ラジオ番組部門制作校より1校
文	ビデオメッセージ部門……………テレビ番組部門制作校より2校

2. 第15回（平成30年度）北信越高等学校選抜放送大会・福井大会の「新潟県代表」に、入賞者、入賞作品および奨励賞の中から下記の通り推薦する。

（平成31年2月9日（土）～10日（日）実施）

北	アナウンス部門……………6名
信	朗 読 部 門……………6名
越	オーディオピクチャー部門……………ラジオ番組部門制作校より2校
	ビデオメッセージ部門……………テレビ番組部門制作校より4校

12 北信越大会出場者特別講習会

アナウンス部門・朗読部門の入賞者は、以下の日程の特別講習会に参加してください。

1月27日（日） 終日

県立新潟高校にて開催予定（変更の場合あり）

13 別紙資料

- ①第38回QK杯校内放送コンクール作品制作規定 (P. 5～7)
- ②機器担当より映像データ入力について補足 (P. 8～9)
- ③QK杯校内放送コンクール審査基準各部門の審査基準 (P. 9～12)
- ④第15回北信越高等学校選抜放送大会・福井大会実施要項 (P. 13～14)
- ⑤第43回全国高等学校総合文化祭・佐賀大会実施要項 (P. 15～18)

以上

第38回QK杯校内放送コンクール作品制作規定

1. アナウンス部門

(1) 原則として、郷土（つまり新潟県）の話題を高校生に伝える内容の自作原稿とし、エントリー番号、学校名、氏名も含めて、1分10秒～1分30秒でアナウンスします。

*来年度全国高校総合文化祭のテーマに沿いましたが、万一、他原稿で入賞して全国大会に推薦された場合は、新たにテーマに合った原稿による出場をお願いすることになります。

- J P E G形式のデジタル静止画像（5コマ以内）の投映が可能です。
- その場合の画像サイズは、1366×768 ピクセルです。
- BGMは使用不可です。
- QK杯でもできるだけ、画像使用の方向でご検討ください。

(2) 当日、課題原稿が提示されるので、自作原稿に続いてアナウンスしてください。

(3) C D - Rには、C D - D A形式（N H K杯と同じ）で「1人1トラック」で記録してください。

(4) C Dの「盘面とケース」には、「学校名・部門名・出場者名・学年」を記載してください。

(5) 録音は参加申込書に入力した順番とし、エントリー番号の代わりに録音番号を読み上げること。

2. 朗読部門

(1) 指定作品（3作品）の中から1作品を選び、エントリー番号、校名、氏名、作者名および作品名を含めて、1分30秒～2分で朗読します。

(2) 原作文の脚色・変更は認めず、原文通り抽出し、文頭から開始して文末で終了させます。
なお、本文中の（ ）内は読み、読み仮名は読みません。

(3) 当日、課題原稿が提示されるので、各自の原稿に続いて朗読してください。

(4) 効果音、BGMは、QK杯においては「使用不可」とします。

(5) C D - Rの取り扱いについては、アナウンス部門の（3）～（5）と同様にします。

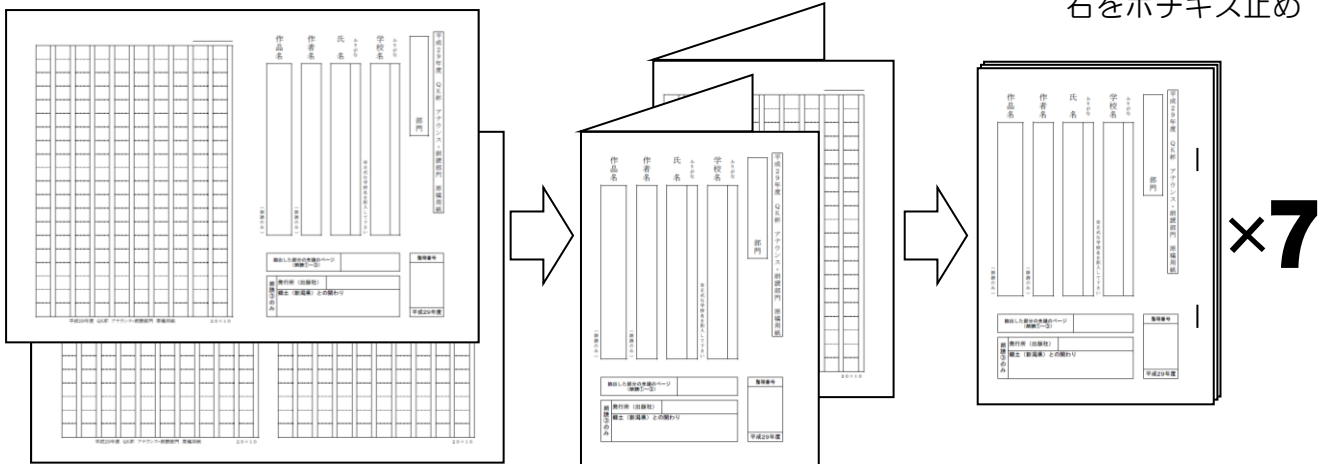
【原稿の作り方】

①各、A4サイズで印刷・作成

②各、二つ折り

③袋綴じて

右をホチキス止め



※コピーするなどして、1人の出場者につき7部ずつ作成・提出してください。

3. ラジオ番組部門

(1) 原則として、郷土に関する話題を取り上げたオリジナル作品とし、内容・手法は自由です。

(*原則として作品はオーディオピクチャー (AP) 形式として、以下の来年度高総文祭の基準に準じて制作してください。

①ステレオ音声とデジタル静止画像 (25画像以内、ただし暗転画像は数に含まない) を一つの映像データにまとめた作品とします。

②静止画使用時のズームイン・ズームアウト、静止画切り替え時のビデオトランジション等のエフェクトは使用しないものとします。

(2) 規格は、次のとおりとします。

①制作時間は5分以内とし、DVD-RもしくはBD-R (片面一層対応) で作成します。

②本編の前後に各5秒間の静止画によるテストパターン (形式は自由) を録画します。

③最後に「…制作は〇〇高等学校放送部 (研究会、委員会等) でした。」と、音声でクレジットコールを入れてください。

④時計 (尺) は、音声開始時から音声のクレジットコール終了時までです。

⑤作品とテストパターンの間にトランジションなどの動きのある部分を設けないで下さい。

⑥DVD-Rの場合は、DVD-VIDEO形式で記録し、ファイナライズ処理をしてください。

⑦ディスク作成時は「メニュー」をつけないでください。

⑧アスペクト比は「16:9」です。

⑨必ず、市販の家庭用DVDプレーヤーまたはBDプレーヤーを使っての再生を確認して下さい。

⑩大会規定の変更過渡期により、旧規格の「音声記録のみ」または、「静止画」+「音声記録」での参加も考慮しますが、準備の都合のため、事前に大会当番校にご相談ください。

4. テレビ番組部門

(1) 原則として、郷土に関する話題を取り上げたオリジナル作品とし、内容・手法は自由です。

(2) 規格は、次のとおりとします。

①制作時間は5分以内とし、DVD-RもしくはBD-R (片面一層対応) で作成します。

②本編の前後に各5秒間の静止画によるテストパターン (形式は自由) を録画します。

③時計 (尺) は、はじめのテストパターン終了から計り、おわりのテストパターン開始までとします。

④作品とテストパターンの間にトランジションなどの動きのある部分を設けないで下さい。

⑤DVD-Rの場合は、DVD-VIDEO形式で記録し、ファイナライズ処理をしてください。

⑥ディスク作成時は「メニュー」をつけないでください。

⑦アスペクト比は「16:9」です。

⑧作品 (本編) の最後に学校名を文字で明記したエンドクレジットを入れて下さい。

⑨必ず、市販の家庭用DVDプレーヤーまたはBDプレーヤーを使っての再生を確認して下さい。

5. 各部門の様式

①アナウンス・朗読部門は、指定された用紙を使用してください。

(県高文連放送専門部のHPからダウンロードできます。)

②番組部門の進行表・CUEシート等は、NHK杯全国高校放送コンテスト要項に準拠します。

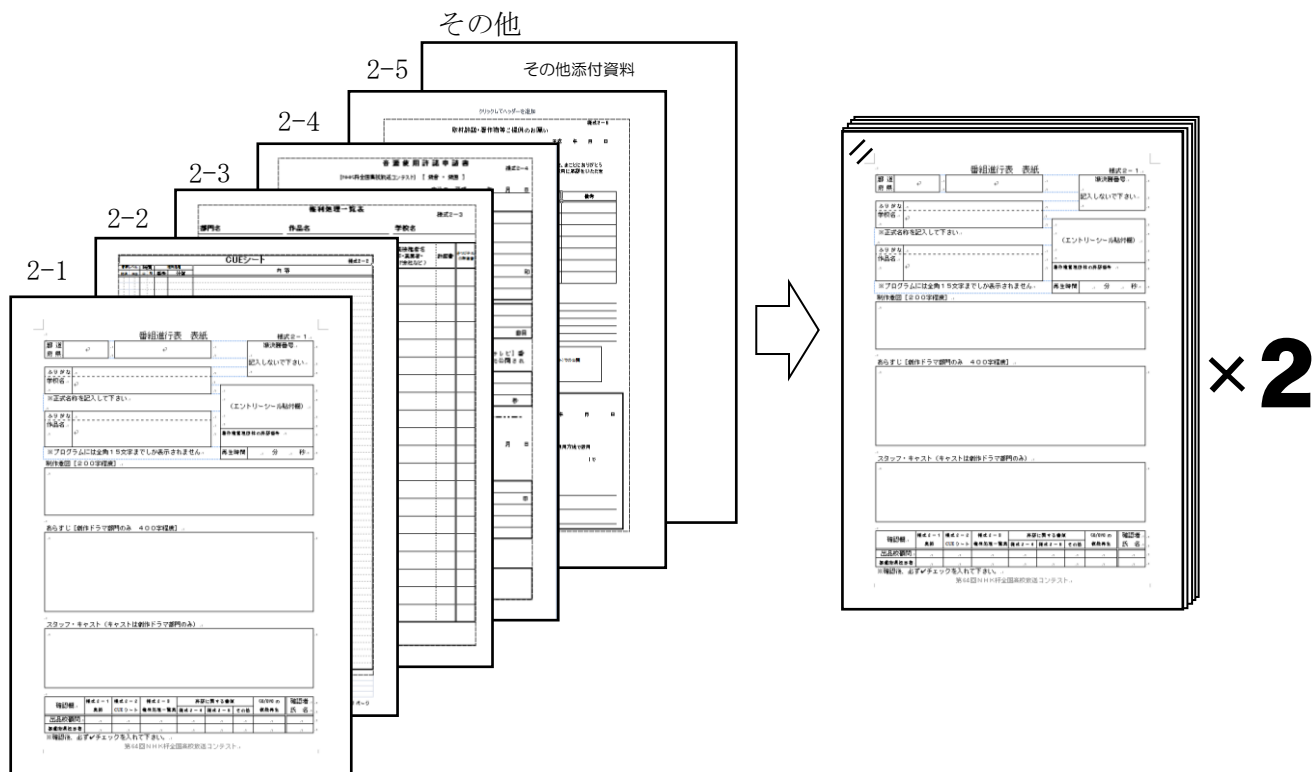
(NHK杯全国高校放送コンテストのホームページよりダウンロードできます。)

【番組部門の進行表・CUEシート等の作り方】

①様式2-1～2-5各、A4サイズで印刷・作成

②用紙の左上をホチキス止め

※様式2-1～2-3は必須。2-4・2-5及びその他は必要に応じて作成。



※コピーするなどして、1作品につき2部ずつ作成・提出してください。

以上

機器担当より映像データ入力について補足

(1) アナウンス部門の「静止画データ処理」

- ① 画像サイズは、1366 × 768 ピクセルで作成してください。
(画像の上下または左右に余白があっても結構ですが、画像サイズは統一してください)
- ② ファイル名指定の方法
→参加申込みの時点では、エントリー番号が決定していないので、次の要領でお願いします。
 - 出場者ごとに「フォルダ」を作って下さい。フォルダ名は「氏名」で結構です。
例：3枚目の画像の場合
↓
A_03.jpg としてください。
(A (半角) + 「アガバ」 (半角) 1つ + 03 (半角数字で2つ) + . (ドット) + jpg)

(2) 映像CD-Rに関する確認

- ・以下のように、部門別、ファイル別にCD-Rは別々に作成して、それぞれのレーベル面とケースの両方に「学校名と部門名」を記載して提出してください。
アナウンス部門：「予選審査音声CD」(希望者のみ、さらに「画像用CD」)

(3) 提出締め切りの厳守 ※重要

送られた映像データは、大会前にパソコンへの取込作業、運営リハーサルをしますので、以下の注意点をご確認ください。

- ①アナウンスの「投影映像CD」→10月31日(木)までに新潟明訓(担当：梅田)
- ②番組の「DVD」→→→→→→10月31日(木)までに新潟明訓(担当：梅田)
へ送付をお願いいたします。
- ③郵送の場合は10月31日(水)の消印有効(直接持参も可能)です。
- ④なお、番組部門の提出物は、大会当日の受付時でも提出が可能ですが、提出の締め切りは9:30です。提出が間に合わない場合は失格です。
- ⑤大会当日持参の場合、事前のチェックもできませんので、再生不能となった場合は失格です。

※ラジオ番組部門をCDで提出する場合の参考資料

【参考資料ラジオ番組部門旧規定】

(1) ラジオ番組部門で、APの「静止画」データ処理について

- ① 画像サイズは、1366 × 768 ピクセルで作成してください。
(画像の上下または左右に余白があっても結構ですが、画像サイズは統一してください)

- ② ファイル名指定の方法

例：25枚目の画像の場合



AP_25.jpg としてください。

(AP (半角) + 「アダバ-」 (半角) 1つ + 25 (半角数字で2つ) + . (ドット) + jpg)

- ③ 最初と最後の画像ファイルに「黒画像」も入れておいてください。

例：最初の黒画像の場合

最後の黒画像の場合



AP_00.jpg としてください。



AP_99.jpg としてください。

(2) ラジオ番組作品の「音声記録」メディア処理について

- CD-Rを使用して「CD-DA形式」にて録音をしてください。
- 送付・提出前に、あらかじめ民生機で再生して、音が出ることを確認してください。
- 大会当日に提出する場合は、念のためバックアップ用CD-Rも持参してください。

以上

QK杯校内放送コンクール審査基準各部門の審査基準

1. アナウンス部門

(1) 原則として郷土の話題を全国の高校生に伝える内容であること。当日渡された課題を適切に伝える。

(2) 審査の視点

a. 内容

(ア) 素材の選び方は適当であるか。

(イ) 文章表現は適当であるか。

b. アナウンスの技術

(ア) 自然な発声で聞き手に伝わるようにアナウンスされているか。

・発声・発音・マイクの使い方

(イ) 正しく意味を伝える抑揚表現ができていないか。

・内容把握・イントネーション・プロミネンス・アクセント

(ウ) 間（ポーズ）は適切か

・テンポ・ポーズ

(3) 採点は100点法とし、(2) a、bに留意し、総合的に採点する。点数は100点法。

(4) 審査の留意事項

・自然な語りかけで、伝達力・説得力のあるアナウンスを高く評価する。

・基礎的・基本的事項の不備なものに高い評価をしない。

(特に鼻濁音、無声化、語尾ののび、イントネーション（始高終低）等について)

・元気があり明るく演示するものは良いが、歌い上げ・作り声・バスガイド調などのいわゆるコンテスト調のものを高く評価しない。

2. 朗読部門

(1) 指定作品の中から1編を選び、自己の表現したい部分を抽出のうえ、規定時間内で読む。作品の脚色は認めない。当日渡された課題を適切に伝える。

(2) 審査の視点

a. 内容

(ア) 作品の選定は適しているか。

(イ) 朗読として適切な部分を選定しているか。

b. 朗読の技術

(ア) 内容表現上、声の出し方や言葉の運びが自然で適切か。

・発声・発音・マイクの使い方

(イ) 正しく意味を伝える抑揚表現ができていないか。

・内容把握・イントネーション・プロミネンス・アクセント

(ウ) 間（ポーズ）は適切か

・テンポ・ポーズ

(3) 採点は100点法とし、(2) a、b、cに留意し、総合的に採点する。

(4) 審査の留意事項

- ・自然で深みのある朗読を高く評価する。
- ・基礎的・基本的事項の不備なものに高い評価をしない。（特に鼻濁音、無声化、語尾ののび、イントネーション（始高終低）等について）
- ・作り声、過度の感情移入、あるいは自分一人で酔っているような朗読については厳しく評価する。
- ・過度のラジオドラマ調、演劇調、一人芝居調のものを高く評価しない。

3. 読みの部門の点数の目安

(ア) 審査員の点数の目安は、以下の基準で行う。

点数	レベル	ランク
90点以上	プロレベル	プラチナ
80～89点	全国大会入賞レベル	金
70～79点	全国大会出場レベル	銀
60～69点	全国大会出場予備軍	銅
50～59点	校内放送実戦レベル	—
40～49点	校内放送練習レベル	—
39点以下	基礎力養成レベル	—

(イ) 審査終了後、参加者にランクを伝える。（点数は伝えない）

(ウ) 失格も伝える

4. 読みの分野の規定違反について

(ア) アナウンス・朗読部門規定時間不足、超過（3秒以上の過不足は失格）

(イ) 不適切な表現（差別的な表現、商品名の連呼、残酷な表現等）について（20点の減点）

(ウ) 作品、ニュース内容の根幹に関わるような大きな読み違い（20点の減点）

(エ) その他、様式違反、読み違い等は注意事項とする。

5. 番組部門

(1) 内容について

ラジオ・テレビの特性を生かして作品に表現していること。自校オリジナル作品とし、内容、手法は自由とする。

(2) 審査の視点について

(ア) テーマ

- ・ラジオ番組部門：原則として郷土に関する話題を取り上げた作品であること
- ・テレビ番組部門：原則として郷土に関する話題を取り上げた作品であること

(イ) 制作技術：制作の手法、取材の方法や努力、企画構成、演出・編集、技術（録音・録画の技術、アナウンスやナレーションの技術、音楽や効果音の使い方など）

(3) 採点と順位について

- ・テーマに沿っていない場合は全国大会へは推薦しない場合がある。
- ・なお、番組部門の審査の視点については別紙「番組審査の視点」も参考に審査すること
- ・審査員は専門職を加えた5名程度とする。
- ・審査基準に従い、1点刻みの100点法で採点する。
- ・集計は5人の得点合計で順位を決定する。ただし同得点の場合は専門職の得点の高い方を上位とする。
- ・集計係の役員審査員が顧問と共に得点を入力し、順位を決定し、審査員全員に周知確認し、部長に報告し決定する。
- ・ただし、番組部門において、出品作品が少ない場合は審査員の合議により順位を決定することができる。
- ・部長不在の場合は委員長、事務局長がその任を負う。

(4) 規定違反について

審査を公平に行うために下記のような処置を行う。（減点は合計点について）

- ・テーマに沿っていない・・・・・・・・・・・・・県大会・北信越大会においては不問とする。
- ・規定時間の過不足・・・・・・・・・・・・・+3秒以上は失格
- ・著作権等の処理の不備・・・・・・・・・・・・・審査員、事務局と協議（不問か減点か失格）
- ・不適切な表現方法（映像・音声）・・・・・・・・・・・・・審査員、事務局と協議（不問か減点か失格）
- ・提出期限に間に合わない・・・・・・・・・・・・・失格
- ・再生不能・・・・・・・・・・・・・失格
- ・申込と大会当日のタイトルが違う・・・・・・・・・・・・・失格もしくは減点
- ・その他、大会後においても、上記規定違反の他、重大な違反が判明した場合には賞の取り消しをすることがある。

以上

第15回北信越地区高等学校選抜放送大会福井大会実施要項（案）

1 目的

現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望を持つ人間としての成長をめざし、あわせて北信越地区における校内放送活動の健全な育成と放送教育の推進をはかる。

2 ねらい

- ア. 美しく豊かな日本語を大切にする心情を育て、あわせて話す力、表現する力を高める。
- イ. 校内マスコミの送り手としての自覚と創造性を育てる。
- ウ. 学校生活の中におけるおいをもたらし、心のふれあいの場をつくる。
- エ. 北信越地区における校内放送活動の向上をはかる場をつくる。

3 主催・主管・後援・協賛（予定）

主 催：北信越高等学校文化連盟・福井県高等学校文化連盟

主 管：福井県高等学校文化連盟放送部会

後 援：福井県教育委員会・坂井市教育委員会

福井新聞社、NHK福井放送局・FBC福井放送・f t b福井テレビ・FM福井

協 賛：仁愛大学・福井工業大学・福井観光コンベンションビューロー

4 会場・宿舎

三国観光ホテル 913-0048 福井県坂井市三国町緑が丘4丁目4-8 (0776)81-3111

5 大会運営委員会

大会長 北信越地区高等学校文化連盟放送専門部会長 ○○○○
大会運営委員長 福井県高等学校文化連盟放送部会長 山田 栄司
大会運営事務局長 福井県立若狭東高等学校 村上 恵

6 大会日程

平成31年2月9日(土)～10日(日)

日	時 間	内 容	会 場
9日 (土)	14:00～	総合受付	ホール前
	14:30～14:50	開会式	ホール
	15:00～17:00	ビデオメッセージ(VM)・講評	ホール
	17:15～18:00	交流会 各県代表者会議	ホール 会議室
	20:00～	北信越放送専門部総会 顧問情報交換会	
10日 (日)	9:00～10:20	朗読部門	ホール
	10:40～11:40	アナウンス部門	ホール
	11:40～12:40	昼食・休憩	昼食会場
	12:50～14:00	オーディオピクチャー (AP)	ホール
	14:00～14:30	講評	ホール
	14:30～15:00	成績発表・閉会式	ホール

7 コンテスト実施各部門ならびにエントリー数

部 門	エントリー数	協賛県	開催県(福井県)
アナウンス	各県6名	各県3名	9名
朗読	各県6名	各県3名	9名
オーディオピクチャー	各県2作品	各県1作品	3作品
ビデオメッセージ	各県4作品	各県2作品	6作品

※協賛県の参加の是非及びエントリー数についてはさらに検討する。

8 参加資格

- ① 平成31年2月現在、北信越5県（およびこの大会に協賛する各県）の高等学校と各種学校の高等部に在籍する生徒（ただし最終学年を除く）および前記生徒が制作した作品であること。
- ② 各部門への参加は、各県高等学校文化連盟放送専門部の推薦による。
- ③ アナウンス・朗読部門への参加は、「1名1部門」とする。
- ④ 番組制作の各部門への参加は、原則として、オーディオピクチャー部門・ビデオメッセージ部門それぞれにつき、「1校1作品」とするが、各県の実情に合わせて複数の出品も可とする。また、統廃合が予定されている学校にあっては、対象校どうしの合同参加も認める。

9 審査員

「アナウンス・朗読」部門、および「オーディオピクチャー・ビデオメッセージ」部門とも、各県から1名ずつ推薦された審査員に、開催県から専門職または特別審査員1名を加える。

（特別・専門職審査員1名＋各県推薦審査員 計6名）

10 表彰

- ・アナウンス、朗読の発表生徒、番組にエントリーした学校全てを奨励賞として表彰する。
- ・アナウンス・朗読の各部門において優秀な発表者を、最優秀賞（1名）、優秀賞（2名）、優良賞（5名）としてそれぞれ表彰する。
- ・オーディオピクチャー部門で優秀な発表校を、優秀校（2校）、優良校（3校）として表彰する。
- ・ビデオメッセージ部門で優秀な発表校を、優秀校（2校）、優良校（6校）として表彰する。
- ・なお、全部門で若干の「審査員特別賞」を出すことがある。

11 各部門の課題・参加規定および規格

原則として、第43回全国高等学校総合文化祭佐賀大会に準じる。

ただし、アナウンス部門については画像を使用せず、朗読部門ではBGMを使用しない。

12 連絡先・事務局

第15回北信越地区高等学校選抜放送大会 福井大会運営事務局長 村上恵

〒917-0293 福井県小浜市金屋48-2（福井県立若狭東高等学校内）

TEL 0770-56-0400 FAX 0770-56-3763 E-mail m-murakami-60@ma.fukui-ed.jp

13 大会エントリー料

大会参加費は、1作品（発表者）につき3,000円とする。

各県負担金は20,000円（協賛県は10,000円）とする。

以 上

追記（高澤）

大会事務局から2018/9/10に提供（9/19現在、福井県事務局で検討中）

元ファイル名「20171116第15回北信越地区高等学校選抜放送大会福井大会実施要項.docx」

放送部門参加要項

1 日時

2019年7月31日（水） 9：15 ～ 18：30（予定）

8月1日（木） 9：00 ～ 17：35（予定）

2 会場

開会式 各部門発表 諸会議	会場名	基山町民会館
	所在地	〒841-0204 佐賀県三養基郡基山町大字宮浦666
	連絡先	TEL 0942-92-1211 FAX 0942-92-0677
	HPアドレス	http://www.town.kiyama.lg.jp/soshiki/27/shisetsu-chominkaikan.html
交流スペース 参加生徒控室	会場名	基山町民総合体育館
	所在地	〒841-0204 佐賀県三養基郡基山町大字宮浦666
	連絡先	TEL 0942-92-2822 FAX 0942-92-2839
	HPアドレス	http://www.seika-spc.co.jp/kiyama/?page_id=4

3 参加資格

全国高等学校総合文化祭開催基準規程第10条に基づき、参加資格を有する者としてします。

4 参加校推薦書

各都道府県の高等学校（芸術）文化連盟の指示に従ってください。

5 参加負担金

アナウンス・朗読部門は発表生徒1人につき1,000円、AP・VM部門は1作品につき1,000円とします。なお、納入方法等については、2019年3月に公表予定の「参加要領」等でお知らせします。

6 著作権等について

- (1) 著作権、肖像権、プライバシー等の権利者の許諾が必要な場合は、出演、出品者等で責任をもって所定の手続きを行ってください。なお、万が一権利の侵害から生じるトラブルが発生した場合、本大会実行委員会は、一切の責任を負いません。
- (2) 演奏、上演、出品等にかかる著作権は、全国高等学校文化連盟に帰属するものとします。
- (3) 参加者の肖像等を、記録集の作成、DVDディスク又はBlu-rayディスク等の映像記録媒体の作成、ホームページなどへの掲載、各種メディアへの提供等に活用することがありますので、あらかじめご了承ください。

7 部門，発表者，出品数及び出品基準

部 門	出品基準	発表者 出品数
アナウンス 部門	(1) 郷土（所属する学校のある都道府県内）の話題を高校生に伝える内容の原稿を作成し、発表してください。 (2) 発表時間は、学校名・氏名を含めて1分30秒以内とします。 (3) デジタル静止画像を併用することができます。 (4) デジタル静止画像の投影は、台本に従って開催県が担当しますが、希望により発表校で行うこともできます。 (5) BGMは使用できません。	3名
朗読部門	(1) 郷土（所属する学校のある都道府県内）にゆかりのある作家の作品、又は郷土を舞台とした作品の中から原文の一部を選んで原稿とし発表してください。 (2) 発表時間は、学校名・氏名・作者名及び作品名を含めて2分以内とします。 (3) 効果音やBGMを併用することができます。 (4) 音声の再生と音量調節は、台本に従って開催県が担当しますが、希望により発表校で行うこともできます。 (5) デジタル静止画像は使用できません。	3名
オーディオピ クチャー (AP)部門	(1) 郷土（所属する学校のある都道府県内）の話題を高校生に伝える内容の作品にしてください。 (2) ステレオ音声とデジタル静止画像（25画像以内）で構成された自校オリジナルの作品とします。 (3) 発表時間は5分以内とします。 (4) 作品の再生は、開催県が行います。	1作品
ビデオ メッセージ (VM)部門	(1) 郷土（所属する学校のある都道府県内）の話題を高校生に伝える内容の作品にしてください。 (2) 自校オリジナルのビデオ作品とします。 (3) 発表時間は5分以内とします。 (4) 作品の再生は、開催県が行います。	2作品

※発表者・出品数は、開催県については、それぞれの部門について2倍まで可とします。

8 規格

部門	出品基準
アナウンス部門	(1) デジタル静止画像は、JPEG形式で5画像以内とし、パソコンからビデオプロジェクター1台で投影するものとします。 (2) 静止画像のサイズは、WXGA(1366×768ピクセル)としてください。
朗読部門	(1) 効果音やBGMは、1作品分を再生順に録音してください。
オーディオピクチャー(A P)部門	(1) ステレオ音声とデジタル静止画像(25画像以内、ただし暗転画像は数に含まない)を一つの映像データにまとめた作品とします。 (2) 静止画使用時のズームイン・ズームアウト、静止画切り替え時のビデオトランジション等のエフェクトは使用しないものとします。 (3) 作品は大会事務局が指定するYouTubeチャンネルへアップロードしてください。YouTubeへのアップロードができない場合は、作品を拡張子がmp4(H.264コーデック、アスペクト比16:9)のデータ形式でDVD-RまたはCD-Rに保存し、提出してください。 (4) 作品本編の前後に5秒間の静止画によるテストパターン(形式は自由)を録画してください。 (5) 作品のバックアップは原則必要ありません。
ビデオメッセージ(V M)部門	(1) 作品は大会事務局が指定するYouTubeチャンネルへアップロードしてください。YouTubeへのアップロードができない場合は、作品を拡張子がmp4(H.264コーデック、アスペクト比16:9)のデータ形式でDVD-RまたはCD-Rに保存し、提出してください。 (2) 作品本編の前後に5秒間の静止画によるテストパターン(形式は自由)を録画してください。 (3) 作品のバックアップは原則必要ありません。

9 留意事項

各部門とも、提出作品は他のコンクール等に参加していない作品とします。

10 発表順

- (1) 長野大会の理事会において抽選を行い、開催県2+都道府県46の合計48エントリーを、各部門6エントリーずつ8つのグループに分けます。
- (2) グループ分けにおいて、運営上必要がある場合にグループの変更を開催県が依頼することがあります。
- (3) 抽選結果に基づき、グループ内の発表順を都道府県に割り当てます。参加申し込みの際に都道府県放送専門部事務局で入力してください。

11 審査講評及び表彰

- (1) 審査及び講評は、開催県で委嘱した審査員により行います。
- (2) 優秀賞は、各グループ(AP部門は2グループごと)で最も高い合計点の発表・作品に授与しま

す。また特別賞は、部門の基準に照らして、表彰に値すると認められた発表・作品に授与します。

- (3) (2)の合計点による各グループの順位をポイント化して、各都道府県のポイントを全部門で合計し、最も高い都道府県に文部科学大臣賞を、次点の都道府県に文化庁長官賞を授与します。
- (4) 講評会及び表彰式は、閉会式に先立って行います。

12 生徒交流会

内容	日 程	時 間	会 場
生徒交流会	2019年8月1日(木)	15:45～16:30 (予定)	基山町民会館

13 諸会議

内容	日 程	時 間	会 場
6 県会議	2019年7月30日(火)	13:00 ～ 14:30	未定
常任理事会		14:30 ～ 16:00	
理事会		16:00 ～ 17:30	

14 その他

詳細については、2019年3月に公表予定の「実施要領」等でお知らせします。

15 問い合わせ先

	放送部門事務局	実行委員会事務局
所在地	〒840-0851 佐賀市天祐二丁目6-1	〒840-8570 佐賀市城内一丁目1-59
名 称	佐賀県立佐賀北高等学校内 第43回全国高等学校総合文化祭 放送部会 代表委員 やまぐち のぶひろ 山口 信宏	佐賀県教育庁学校教育課 全国高等学校総合文化祭推進室内 第43回全国高等学校総合文化祭 佐賀県実行委員会事務局
連絡先	TEL 0952-26-3211 FAX 0952-25-7042 E-mail housou@mail.saga-ed.jp	TEL 0952-25-7462 FAX 0952-25-7067 E-mail sagasoubun@pref.saga.lg.jp
その他	大会公式ホームページ https://sagasoubun.jp/ に情報を掲載しますので、定期的にご確認ください。	

追記 (高澤)

信州総文にて承認：2018/8/8

大会事務局から提供：2018/8/31 (元ファイル名「12_放送部門参加要項2018.7.18.docx」)